高校女子サッカー選手権大会

３位決定戦　戦評

入間向陽１－０（１－０，０－０）川口総合

得点　前半24分　入間向陽⑨佐々木楓

前半川口総合のキックオフで試合開始。ＦＷ⑫新城と⑬佐久間が相手サイドバックの裏のスペースに走りこみ、中央へ折り返してチャンスを作ろうとする川口総合と、ＤＦラインの裏へＦＷ⑭深谷、⑫秋本を走らせ、浮き球を合わせようとする、入間向陽の戦いは、一進一退のなか、川口総合が徐々にペースをつかみ、20分と22分にＣＫからチャンスを作るが決められず。逆に入間向陽が反撃し、24分右サイドから⑦苅田が狙い済ましたクロスを中央へ入れ、左サイドから⑨佐々木が二アサイドへ走り込みヘディングで合わせてゴールを決め１－０と先行。その後も、31分川口総合が中央へのクロスに⑩が走り込み、こぼれ球を⑬がシュートするが決まらない。逆に32分入間向陽⑩の右サイド⑫へのスルーパスから、センタリングを⑭に合わせシュートするがＧＫ正面。そのまま入間向陽が１－０でリードして前半を終える。

後半も前半と同じ展開となるが、双方とも粘り強い守備ではね返し、パスミスやコントロールミスで決定機を作れず、徐々に疲れも見えてきた。

終盤、川口総合が、ＣＫやＦＫからチャンスを作るが、決めきれず入間向陽が守りきって１－０で勝利し3位となった。